

訓練用AED使用の留意点

使用前の留意点

(1) 事前に学習をしておくこと

- ① 学校などで訓練を経験済みであっても、専門知識を予習すると良い。
- ② 日本連盟発行の書籍、スカウトライブラリー「救急法」を活用のこと。
P 1 4～P 4 9「心肺蘇生法」、特にP 3 4～P 4 1「AED」参照



(2) 原則として室内で使用する

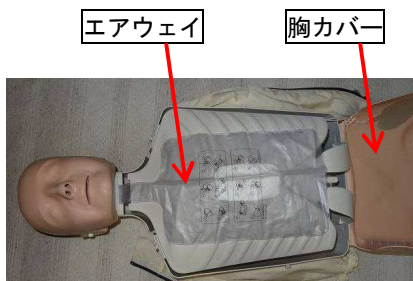
- ① あらゆる場所が想定され、例えばハイキング途中での使用も考えられるが、訓練中に埃や汚れが付着するのを極力防ぐことができる場所を選定する。

(3) 十分に手を洗い訓練に臨むこと

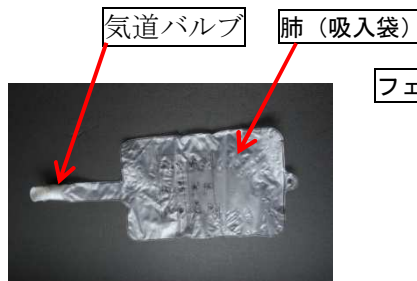
- ① 術者の手あか等によるリトル・アン（マネキン人形）本体の汚れを最小限に止めるため
- ② パッドの劣化防止にもなる。

(4) 事前点検・異常の有無確認をすること

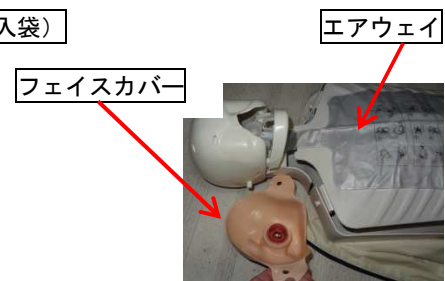
- ① 心肺蘇生法（CPR、Cardio Pulmonary Resuscitation）を正しく施行できる者が、通電部のアルミ箔の亀裂・剥離など異常のないことを確認する。
- ② 上記の正しく施行できる者が、リトル・アンの口周辺、口腔内及びエアウェイ（気道）の点検をする。



（胸カバー取り外し）



（エアウェイ）



（フェイスカバー取り外し）

使用中の留意点

(1) 口部衛生管理の励行

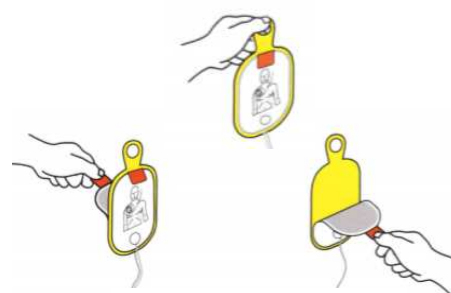
- ① 人工呼吸時に、リトル・アンの口をガーゼまたはハンカチ（広げて使用の事）で覆い人工呼吸を行うことが望ましい。
- ② リトル・アンの口周囲は、使用前後にアルコール含浸綿で清拭（消毒）するが、施行中には口の中に唾液が飛沫していることが考えられ、ガーゼ又はハンカチでリトル・アンの口を覆うことが望ましい。

(2) パッドの適正管理について

①パッドの適正な取り扱い、特に粘着ジェルの管理が訓練用AEDの一番大切である。

以下の点に留意する。

- ・ 粘着ジェルに触れない。
- ・ 高熱や直射日光に近づけない。
- ・ 繊維、ほこり、糸くず等が付着するおそれのある面に置かない。
- ・ 黄色の台紙にはみださないよう使用しない時は貼り付ける。



(パッドの取り外し)

(3) 落下等の衝撃を与えないこと。

①内蔵コンピューターが正常に作動しなくなる。

使用後の留意点

(1) 清拭処理

①唾液の飛沫等による汚れの除去のため、リトル・アンの口腔内をアルコール含浸綿で丁寧に清拭（消毒）を行う。

②手指の汗等による汚れの除去のため、顔面（フェイスカバー）及び胸部を除菌用ウェットティッシュ等で清拭する。

(2) エアウェイの交換、定期点検の励行

人口呼吸時の術者の呼気に含まれる水分が水滴となり内部に付着する場合があります、放置しておくとカビ等が発生する恐れがあり、以下の場合には交換をする。

① 使用後、胸部及び顔面カバーを外し、エアウェイの内部に水滴等がないか確認し、確認されれば、エアウェイを交換する。

②エアウェイは使用後毎に清拭処理するが、できるだけ担当者を決めて定期的（例えば毎年単位）に点検し、交換の可否をチェックするとよい。

(3) 乾電池

放電の防止のため、使用後は、必ず抜いておく。

参 考

消耗品等とその価格

(1) マネキンフェイスシールド 消耗品として 36 枚入り×6 ￥22032—（税込み）

(2) マネキンフェイス 消耗品として 6 枚入り ￥12852—（税込み）

(3) エアウェイ 消耗品として 24 枚入り ￥20736—（税込み）

以上

(2019.1.20 総務委員会)